



市立貝塚病院

(大阪府 貝塚市)

初期臨床研修のご案内
STARS (市立貝塚病院) 研修プログラム
令和8年度【予定】



～地域住民を支える良質な医療の提供～

市立貝塚病院

〒597-0015 大阪府貝塚市堀3丁目10-20

電話 072-422-5865

FAX 072-439-6061

ホームページ <http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>

目次

病院長あいさつ	1
病院概要	2
専門医・指導医の状況	3
科別患者数の状況	7
初期臨床研修プログラム責任者	8
研修ローテーション	9
研修医の一日を紹介します	10
初期臨床研修医の処遇	11
研修医からのコメント	13
過去の研修医からのコメント	14
研修医のためのミニ講義スケジュール	15
カンファレンス・勉強会等一覧	16
市立貝塚病院へのアクセス	17

市立貝塚病院 院長 長谷川 順一

当院は、「地域住民を支える良質な医療の提供」を理念としています。医療の現場でこの理念を実現できるよう職員一同日々努力しています。

病床数は249床で、内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科・消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、緩和ケア内科を標榜し、一般診療から専門領域まで幅広く診療ができます。特に、がん医療には力を入れて取り組んでいます。



当院では各疾患の標準的治療だけでなく、先進的治療を学ぶことが可能です。各分野の指導医に加えてチーム医療体制が整っており、まんべんなく症例も体験でき、研修には適した病院と自負しております。また、地域包括ケア病棟を有し、高齢化社会に向けて地域と密着した医療を学べます。

そして、伝統的に各科の垣根が低く、分野を超えて気軽に相談できるという強みがあります。診療科の壁を越えた幅広い知識、すなわち医師に求められる総合診療能力が身についていくことでしょう。自身の将来的テーマをしっかりと深められる良い機会になります。乳がん高度検診・治療センター、消化器・肝臓センター、婦人科腫瘍センター、低侵襲外科手術センターなど各専門医療センターを有し、医師、看護師、コメディカルが多職種が治療に取り組んでいます。初期研修の時期に広く知識を得ることができることは、先生方にとっては今後、大きな心の糧になるのではないのでしょうか。

是非この泉州に来ていただき、若い意欲と行動力を遺憾なく発揮してください。お待ちしております。

病院概要

- 開設 昭和14年9月25日（町立病院として開設）
- 院長 長谷川 順一
- 病院規模 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上8階 駐車台数234台
- 病床数 249床（一般病床）
- 診療科 内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・産婦人科・小児科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線診断科・放射線治療科・臨床検査科・病理診断科・麻酔科・リハビリテーション科・緩和ケア内科
【院内標榜】総合診療科
- 専門医療センター 乳がん高度検診・治療センター、低侵襲外科手術センター
婦人科腫瘍センター、前立腺・排尿ケアセンター、健診センター
消化器・肝臓センター、人工関節センター、入退院支援センター等
- 地域医療連携・部署 緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟、HCU
入退院支援センター（地域医療連携室・入退院（在宅）支援室）
感染制御室・医療安全管理室・臨床研修管理室
診療情報管理室・臨床工学室 等 【なすびんネット運用】
- 各種認定 日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver2.0）
大阪府がん診療拠点病院
日本内科学会教育関連病院
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器病学会認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
日本肝臓学会専門医認定施設
日本循環器学会循環器専門医研修関連施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本婦人科腫瘍学会専門医制度修練施設
日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医暫定研修補完施設
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本眼科専門医研修施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
マンモグラフィ検診施設画像認定
日本乳癌学会認定施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
日本麻酔学会麻酔認定病院
日本病理学会病理専門医研修施設
日本大腸肛門病学会認定施設
日本形成外科学会教育関連施設
大阪府肝炎専門医療機関
エキスパンダー・インプラント実施施設 他多数

■病院の特徴

地域医療の中心的役割を担い大阪府がん診療拠点病院として、消化器がん、乳がん、婦人科がんなど、健診から治療、緩和ケアに至るトータルな高度がん医療の提供に取り組んでいる。また、消化器・肝臓センター、乳がん高度検診・治療センター、婦人科腫瘍センターなど専門医療センターを備え、診療科の枠を越えた多職種チームで医療の質の向上を図っている。

専門医・指導医の状況

担当科	医師名	学会	資格等
内科・循環器内科	中 聡夫	日本循環器学会専門医	日本内科学会総合内科専門医 / 指導医
		日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリ指導士	難病指定医
内科	物部 圭介	日本内科学会認定内科医	日本糖尿病学会糖尿病専門医
		小児慢性特定疾病指定医	難病指定医
消化器内科	垣田 成庸	医学博士	日本内科学会認定内科医
		日本内科学会総合内科専門医 / 指導医	日本消化器病学会専門医 / 指導医
		日本肝臓学会専門医 / 指導医	日本消化器内視鏡学会専門医
		日本消化管学会胃腸科認定医 / 専門医 / 指導医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		日本救急医学会ICLSインストラクター	日本内科学会内科救急JMECCインストラクター
		看護師特定行為研修指導者	難病指定医
		日本医師会認定産業医	日本不整脈心電学会心電図検定1級
		日本内科学会近畿支部評議員	日本消化器病学会近畿支部評議員
		日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員	日本肝臓学会西部会評議員
		大阪大学医学部臨床准教授	
	山崎 正美	日本内科学会認定内科医	日本内科学会総合内科専門医
		日本消化器病学会専門医	日本消化器内視鏡学会専門医
		日本肝臓学会専門医	
	青井 健司	日本内科学会認定内科医	日本内科学会総合内科専門医
		日本消化器内視鏡学会専門医	日本消化器病学会専門医
	岩谷 修子	医学博士	日本内科学会認定内科医
		日本消化器病学会専門医	日本消化器内視鏡学会専門医
		日本医師会認定産業医	難病指定医
	佐竹 真	日本内科学会認定内科医 / 指導医	日本内科学会総合内科専門医
		日本消化器病学会専門医	日本消化器内視鏡学会専門医
		日本肝臓学会専門医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		難病指定医	
	城野 碧	日本内科学会内科専門医	
	津室 悠	日本内科学会内科専門医	
神経内科	森田 勇二	日本神経学会神経内科専門医 / 指導医	日本リハビリテーション医学会認定臨床医
		日本脳卒中学会脳卒中専門医	日本内科学会認定内科医 / 指導医
		日本認知症学会認知症専門医	難病指定医
外科・消化器外科	今本 治彦	日本外科学会専門医 / 指導医	日本消化器外科学会専門医 / 指導医
		消化器がん外科治療認定医	日本内視鏡外科学会技術認定医 / 評議員・特別会員
		日本消化器内視鏡学会専門医 / 指導医	日本臨床外科学会評議員
		日本外科系連合学会評議員 / Fellow会員	日本胃癌学会特別会員
		日本食道学会終身認定医・食道外科名誉指導医、特別会員	胃外科・術後障害研究会特別会員

担当科	医師名	学会	資格等
外科・消化器外科	今本 治彦	日本腹膜播種研究会理事	近畿外科学会特別会員
		日本クリニカルパス学会評議員	日本医療マネジメント学会評議員 / 大阪支部幹事
		PEG / 在宅医療学会認定胃瘻造設者 / 認定管理者	日本医師会認定産業医
		「The Best Doctors in Japan」2024-2025	
	長谷川 順一	日本外科学会専門医 / 指導医	日本消化器外科学会専門医 / 指導医
		日本消化器病学会専門医 / 指導医	日本大腸肛門病学会専門医 / 指導医 / 評議員
		日本内視鏡外科学会技術認定医 / 評議員	日本がん治療認定機構がん治療認定医
		日本医師会認定産業医	日本ロボット外科学会Robo-Doc Pilot認定
		日本臨床外科学会評議員	日本職業/災害学会評議員
		米国臨床腫瘍学会(ASCO) Full Member	米国内視鏡外科学会(SAGES) International Member
		大阪大学消化器外科臨床教授	
	金 鎬国	日本外科学会専門医/指導医	日本がん治療認定機構がん治療認定医
		看護師特定行為研修指導者	
	高山 治	日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医 / 指導医
		日本がん治療認定機構がん治療認定医	インфекションコントロールドクター
	武元 浩新	日本外科学会専門医/指導医	日本消化器外科学会専門医/指導医
		日本大腸肛門病学会専門医/指導医	日本消化管学会胃腸科専門医
		日本栄養治療学会専門医/指導医	がん治療認定医
		ストーマ療法士	
	原 豪男	日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医/指導医
		消化器がん外科治療認定医	日本がん治療認定機構がん治療認定医
		日本内視鏡外科学会技術認定医(胃)	日本食道学会食道科認定医
		インфекションコントロールドクター	日本静脈経腸栄養学会TNT研修会修了
	安山 陽信	日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医 / 指導医
		日本消化器外科学会がん外科治療認定医	産業医学基本講座終了
	眞木 良祐	日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医
		日本救急医学会専門医	日本腹部救急外科学会認定医
乳腺外科	稲治 英生	日本乳癌学会認定医 / 専門医 / 指導医	日本外科学会専門医 / 指導医
		外国人医師臨床修練指導医	日本内分泌外科学会名誉専門医
		乳房再建用エキスパンダー / インプラント責任医師	「The Best Doctors in Japan」2024-2025
	玉木 康博	日本乳癌学会認定医 / 専門医 / 指導医	日本外科学会専門医 / 指導医
		日本がん治療認定医	日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
		日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍専門医 / 指導医	「The Best Doctors in Japan」2024-2025
	大城 智弥	日本乳癌学会認定医 / 専門医 / 指導医 / 評議員	日本外科学会専門医
		マンモグラフィ読影認定医	ラジオ波焼灼療法(RFA)術者
	高橋 裕代	日本乳癌学会認定医 / 専門医 / 指導医	日本外科学会専門医
		マンモグラフィ読影認定医	

担当科	医師名	学会	資格等
乳腺外科	谷口 梓	日本外科学会専門医	マンモグラフィ読影認定医
		乳房超音波読影認定医	
整形外科	大野 充繁	日本整形外科学会専門医	日本整形外科学会認定リウマチ医
		日本リウマチ財団登録医	日本リウマチ学会専門医
		日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医	難病指定医
	尾上 仁彦	日本整形外科学会専門医	日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
		難病指定医	
	林 淳一郎	日本整形外科学会専門医	日本手外科学会専門医
形成外科	望月 祐一	日本形成外科学会専門医 / 領域指導医	皮膚腫瘍外科分野指導医
		小児形成外科分野指導医	レーザー分野指導医
		日本創傷外科学会専門医	日本抗加齢医学会専門医
		難病指定医	乳房再建用エキスパンダー / インプラント責任医師
		看護師特定行為研修指導者	
	進藤 恵美	乳房再建用エキスパンダー／インプラント実地医師	
産婦人科	横井 猛	日本産科婦人科学会専門医 / 指導医	日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 / 指導医 / 代議員
		日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 / 技術認定審査員 / 評議員	日本内視鏡外科学会技術認定医
		日本がん治療認定医機構がん治療認定医	日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医
		近畿産婦人科内視鏡手術研究会理事	大阪産婦人科医 / 代議員
		母体保護法指定医	医学博士(大阪大学)
		難病指定医	「The Best Doctors in Japan」2024-2025
	岡 藤博	日本産科婦人科学会専門医	日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
		日本外科学会専門医	母体保護法指定医
		日本周産期・新生児医学会NCPR専門コース修了	
	吉村 明彦	日本産科婦人科学会専門医・指導医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医・指導医	母体保護法指定医
		日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)	
	田中 あすか	日本産科婦人科学会専門医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医	Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeon
	永瀬 慶和	日本産科婦人科学会専門医 / 指導医	母体保護法指定医
		日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医	日本内視鏡外科学会技術認定医(産婦人科領域)
		日本がん治療認定医機構がん治療認定医	医学博士(大阪大学)
	市川 冬輝	日本産科婦人科学会専門医	日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
		日本内視鏡外科学会技術認定医(産婦人科領域)	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		米国消化器内視鏡外科学会(SAGES) Fundamental Use of Surgical Energy(FUSE)資格者	
		Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeon	
	松谷 和奈	日本産婦人科学会専門医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		母体保護法指定医	
	小池 真琴音	日本産婦人科学会専門医	

担当科	医師名	学会	資格等
小児科	岡野 意浩	日本小児科学会専門医	小児慢性特定疾病指定医
	島田 善弘	日本小児科学会専門医	
	山崎 晃嗣	日本小児科学会専門医	日本アレルギー学会専門医
皮膚科	永尾 淳	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医	日本抗加齢医学会専門医
		日本内科学会認定内科医	
泌尿器科	能勢 和宏	日本泌尿器科学会専門医 / 指導医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		日本移植学会腎移植認定医	日本臨床腎移植学会腎移植専門医
		腎代替療法専門指導士	難病指定医
		大阪泌尿器科臨床医会幹事	
	安富 正悟	日本泌尿器科学会専門医 / 指導医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会ロボット支援手術ブロックター	日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医	
眼科	三浦 和美	日本眼科学会専門医	
放射線診断科	坪井 慶子	日本医学放射線学会放射線科専門医	日本医学放射線学会放射線診断専門医
		肺がんCT検診認定医師	日本医学放射線学会研修指導者
	坂本 篤彦	日本医学放射線学会放射線診断専門医	日本IVR学会IVR専門医
放射線治療科	川口 善史	日本医学放射線学会放射線治療専門医	
病理診断科	山崎 大	日本病理学会認定病理専門医	日本病理学会病理専門医研修指導医
		日本臨床細胞学会細胞診専門医	死体解剖資格認定
麻酔科	水谷 光	麻酔科標榜医	日本麻酔科学会認定麻酔専門医
		日本麻酔科学会麻酔科指導医	日本区域麻酔学会認定医
		日本区域麻酔学会指導医	日本医療機器学会第1種滅菌技師
		日本医療機器学会医療機器情報コミュニケーター	日本医療福祉設備協会認定ホスピタル・エンジニア
		ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター	
	田路 大悟	麻酔科標榜医	日本麻酔科学会認定麻酔専門医
	齋木 笑梨	麻酔科標榜医	日本麻酔科学会認定麻酔専門医
		日本麻酔科学会麻酔科指導医	看護師特定行為研修指導者
	田村 悠希	麻酔科標榜医	日本麻酔科学会麻酔科認定医
		日本麻酔科学会認定麻酔専門医	
緩和ケア内科	川上 寛明	日本内科学会認定内科医	日本緩和医療学会緩和医療認定医
	松村 多恵	日本緩和医療学会緩和医療認定医	
内科	館谷 新一郎	日本慢性期医療協会認定総合診療医	認定産業医
総合診療科 (院内標榜)			

科別患者数の状況

令和6年度

診療科	1日平均 外来患者数	1日平均 入院患者数	手術件数	医師数 (指導医数) 令和7年4月時点
内科 循環器内科	67.1人	11.0人	—	4 (4)
緩和ケア内科	1.7人	15.4人	—	2 (2)
消化器内科	79.9人	26.6人	—	7 (7)
神経内科	11.9人	0.1人	—	1 (1)
小児科	47.0人	8.1人	—	4 (3)
外科・ 消化器外科	28.0人	22.1人	478件	7 (7)
乳腺外科	49.6人	10.7人	270件	5 (4)
形成外科	16.6人	2.5人	95件	2 (2)
整形外科	43.7人	32.2人	310件	4 (3)
麻酔科	3.8人	—	—	4 (4)
皮膚科	22.9人	0.2人	—	1 (1)
泌尿器科	48.5人	15.3人	674件	4 (2)
産婦人科	60.0人	26.1人	755件	11 (8)
眼科	51.3人	6.2人	1,169件	3 (1)
耳鼻咽喉科	2.3人	—	—	
放射線診断科 放射線治療科	17.1人	—	—	5 (3)
臨床検査科 病理診断科	—	—	—	1 (1)
総合診療科	9.9人	14.0人	—	1 (1)

初期臨床研修プログラム責任者

研修プログラム責任者

内科部長・循環器内科部長 中 聡夫

市立貝塚病院の初期臨床研修プログラム（STARS）は、厚生労働省のガイドラインに沿ったプライマリケアの習得に役立つよう、研修科目のバランスを考慮した構成としています。

1年次の研修では、基本診療科のうち、内科・救急科（麻酔科）・外科で主に入院患者の診療を通じて臨床医として不可欠な知識、技術、倫理観を習得していただきます。

2年次には小児科・産婦人科・精神科のほか、病院以外の地域医療を経験するために在宅医療の現場などの研修を行います。選択期間は7か月設けており、各分野別の重点コースを設け、コース選択により広範囲あるいはより専門的な内容の研修を受けられます。



2014年から「地方独立行政法人りんくう総合医療センター」との協同プログラムとしており、両病院の特性を生かし相互乗り入れすることで、研修医にとっても選択幅が広がり、柔軟な研修計画が立てられます。同病院のどちらに籍を置いても、同レベルの臨床手技習得を可能とし、地域密着型プログラムの下、卒後臨床研修センター（サザンウィズ）において、皆さんの研修サポートを行います。

また、当院は病床数249床で、地域の中核病院です。豊富な指導医陣の下で、様々な疾患の初期診療に携わることができます。2年間という短い研修期間ですが、自主性をもって日々の研修に挑めば、きっと満足度の高い研修になるでしょう。

研修先を決める際に、単に病院の規模を比較するのではなく、そこで何を学び、どこまで自主性をもって研修できるかを重視した選択をしてほしいと思います。

泉州の地で待ってます！先輩研修医とともに研鑽してください！！

初期臨床研修プログラムの名称と定員（予定）

名 称：STARS（市立貝塚病院）
プログラム番号：令和8年度プログラム番号は
マッチング時に再度ご確認ください。
定 員：2名（予定）



研修ローテーション

	1年次	2年次
4月	内科①	小児科④
5月		
6月		
7月		
8月		産婦人科⑤
9月		精神科⑥
10月	救急部門②	地域医療⑦
11月		
12月		
1月	外科③	選択科⑧
2月		
3月		

ローテートは変更される場合があります。

1 年次

- ①内科 6か月 一般総合内科、循環器内科、神経内科、消化器内科を研修
(26週) (一般外来 うち10日間必須で並行研修)
※1か月を限度として、りんくう総合医療センターでの
内科研修を選択可能
- ②救急部門 3か月 麻酔科 1か月 救急医療に関する手技を研修
(13週) 救 急 2か月 りんくう総合医療センターにて研修
- ③外科 3か月 消化器外科、乳腺外科を研修
(13週) (一般外来 うち5日間必須で並行研修)

2 年次

- ④小児科 2か月(8.7週) (一般外来 うち5日間必須で並行研修)
- ⑤産婦人科 1か月(4.3週) りんくう総合医療センターと当院にて半月ずつ研修
- ⑥精神科 1か月(4.3週) 水間病院にて研修
- ⑦地域医療 1か月(4.3週) 貝塚西出クリニック・河崎病院・清名台外科・
なかたクリニックから2か所選択、あるいは隠岐広
域連立立隠岐病院にて研修
- ⑧選択科 7か月(30.4週) (自由選択コース又は重点コースなど自由に選択)
- 1) 周産期重点コース 産婦人科4か月・NICU1か月・小児科2か月
 - 2) 乳腺・形成重点コース 外科2か月・乳がん-高度検診治療センター4か月
形成外科1か月
 - 3) 麻酔科・救命コース 麻酔科5か月・救命救急センター2か月
 - 4) 外科系コース 外科3か月・整形外科2か月・泌尿器科2か月
 - 5) 自由選択コース 選択科の7か月の期間は、市立貝塚病院及び
りんくう総合医療センターそれぞれの重点コース
や診療科を選択し研修を受けることができます。

研修医の一日を紹介します！！

研修医の1日です。

指導医の先生方のマンツーマンの指導のもと忙しい毎日です。

8：30



病棟において、入院患者カルテの確認。様態に変化はないか、夜間の状況を確認。

9：00



指導医とともに手術室へ入室。指導のもと病変部位を確認しながら学びます。

研修医は救急診療の研修として、指導医とともに日々の救急患者の初期対応にあたります。市中病院特有の様々な救急症例を経験します。

11：30



電子カルテで術後検査など確認し、経過をチェックします。

14：30



カンファレンス。担当患者の症例・治療経過を説明し、指導医からのアドバイスをもらいながら、診療方針を決定していきます。

16：30



指導医から専門領域の研修をミニ講義として、分かりやすく説明を受ける機会を設けています。

曜日により、病棟回診や外来診療など、研修内容はもりだくさんです。緩和ケアラウンド・ICTラウンドに参加。院内勉強会には必ず参加。各科カンファレンスにも出席。

初期臨床研修医の処遇（令和8年度募集要項）

I. 募集人数： 2人

II. プログラム：STARS（市立貝塚病院臨床研修プログラム）

市立貝塚病院臨床研修病院群：

市立貝塚病院（基幹型臨床研修病院）

医療法人河崎会 水間病院（協力型臨床研修病院：神経科・精神科）

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

（協力型臨床研修病院：救急・各科）

医療法人尚生会 貝塚西出クリニック（研修協力施設：地域医療）

社会医療法人慈薫会 河崎病院（研修協力施設：地域医療）

医療法人 清名台外科（研修協力施設：地域医療）

なかたクリニック（研修協力施設：地域医療）

隠岐広域連合立隠岐病院（研修協力施設：へき地医療）

III. 研修方法

2年間で2期に分け、1期ごとにローテーションを行う。

なお、研修開始前にオリエンテーションを兼ねたイントロコースを一定期間設定する。

1年目

内科 6か月（26週）

一般総合内科、循環器内科、神経内科、消化器内科を研修

※うち10日間必須で一般外来研修を並行研修

※1か月を限度として、りんくう総合医療センターでの内科研修選択可能

救急部門 3か月（13週）

麻酔科 救急医療に関する手技を1か月（4.3週）研修

救 急 2か月（8.7週）りんくう総合医療センター（大阪府泉州救命救急センター）にて研修

外科 3か月（13週） 消化器外科及び乳腺外科を研修

※うち5日間必須で一般外来研修を並行研修

2年目

小児科 2か月（8.7週）

※うち5日間必須で一般外来研修を並行研修

産婦人科 1か月（4.3週）

りんくう総合医療センターと当院で半月ずつ研修

精神科 1か月（4.3週） 水間病院にて研修

地域医療 1か月（4.3週）

貝塚西出クリニック・河崎病院・清名台外科・なかたクリニックから2か所 あるいは隠岐広域連合立隠岐病院を選択し、研修

選択科 7か月（30.4週）

当院の重点コース又は自由選択コースの他、りんくう総合医療センターなどとの協働体制により、それぞれの重点コースや、診療科を選択し研修を受けることができます。（期間については要相談）

IV. 応募資格

令和8年3月医師国家試験合格見込者

令和7年3月以前の医師国家試験合格者で臨床研修経験のない者

V. 選考方法 書類選考・面接

Ⅵ. 面接日時

日時 令和7年8月中旬～9月初旬を予定しています。

・まずはお問い合わせください。ご希望に合わせ調整します。

Ⅶ. 応募手続

(1) 受付期間 令和7年7月～8月末

午前8時45分～午後5時15分（土・日・祝日を除く）

(2) 提出書類

①履歴書 1通

※JIS様式例準拠（A4サイズ）の履歴書に写真を貼付したもの

②卒業（見込み）証明書 1通

③成績証明書 1通

(3) 受験申込先

〒597-0015 大阪府貝塚市堀3丁目10番20号

市立貝塚病院 事務局総務課 一力（いちりき）

電話 072-422-5865（代表）または 072-438-5500（直通）

(4) 注意事項

受験申込は、提出書類に必要事項を記入し、本人持参または郵送等により申込先に提出してください。

Ⅷ. 採用予定日及び処遇

(1) 採用予定日 令和8年4月1日

(2) 身分 パートタイム会計年度任用職員（初期臨床研修医）

(3) 給与 年収（見込み） 1年次 5,200,000円（医師当直料含む）

2年次 6,400,000円（医師当直料含む）

その他の給与 実態により、通勤手当相当報酬を支給
時間外勤務は、原則として命令しない。

(4) 宿舍等 公舎 有（入居料免除、光熱水費等自己負担）

院内保育所あり（病児保育可）

(5) 社会保険 医療保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険に加入

(6) 医療過誤保険 病院として、医師賠償責任保険に加入

(7) 勤務時間 午前9時から午後5時15分 の 1日7時間30分

（1週間：37時間30分を原則とする）

(8) 休暇 土曜、日曜、祝日 ※当直など、出勤の場合がある。

年次有給休暇・年度20日、夏季休暇、年末年始、忌引休暇等、
貝塚市病院事業に勤務する会計年度任用職員の規定による。

(9) その他 他院での診療を含めアルバイトは一切できない。

Ⅸ. その他

プログラム説明・見学会については随時受け付けします。

この要項についてのお問合せは、受験申込先にして下さい。

なお、医師臨床研修マッチング協議会の研修医マッチング参加予定です。

問合せ先 大阪府貝塚市堀3丁目10-20

市立貝塚病院 総務課 一力（いちりき）

電話 072-438-5500

メール byoinsoumu-h@hosp.kaizuka.osaka.jp

研修医からのコメント

初期研修医 2年次

初期研修医数

2年次 2名

1年次 2名

市立貝塚病院は規模は決して大きいとはいえない病院ですが、地域の中核病院としてcommon diseaseの症例が多く、その疾患の診断、付随した知識、または必要な主義等指導医が丁寧に指導してくださるので手技や知識を深めることができます。

研修医は少ないですが、症例の取り合いがないというメリットもあります。お互い患者が被らないので、自分が受け持った症例について研修医同士紹介したり、話し合ったりすることでお互いの知識を高めることもできます。

指導医をはじめ、看護師さん、病院職員がみんな優しく、気さくに話しかけたり教えてくれるのでとても過ごしやすい環境です。

興味のある方はぜひ見学にいらしてください。お待ちしております。

初期研修医 2年次

市立貝塚病院では1年目は主に市立貝塚病院での研修ですが、2年目は当院に加えてりんくう総合医療センターを含む複数の病院で研修を行います。

研修医の人数が他院と比べると少ないかもしれませんが、その分多くの症例を経験する事が出来ます。また、指導医の先生方も大変熱心に指導して下さいますので、症例に対する理解を深める事が出来ますし、手技にも積極的に参加させて頂けます。

ご興味がある方は是非見学にいらして下さい。明るくアットホームな雰囲気伝わるかと思います。

過去の研修医からのコメント

市立貝塚病院は総合病院として地域医療の中心的役割を担う、大阪府がん診療拠点病院に指定されています。内科は、非常勤を含めて少人数ではありますが、神経、消化器、循環器、および総合内科を専門とする医師で構成しています。内科では臨床に必要な広範な知識・技術を身につけ、適切な診断と治療が可能な医師を育成するプログラムとなっています。各科の垣根が低く、いつでも他科の先生方に相談・ご指導頂ける環境にあります。コメディカルの方々も協力的で、様々な場面で相談にのっていただきました。一年次のスケジュールは内科、消化器外科、麻酔科、救急、精神科となっています。研修医にとっては様々な症例が経験でき、各々充実した検査と治療が可能です。ぜひ見学に来てください。

(※現在、精神科は2年次での研修となっています)

いち早く経験値を上げることができる点も魅力であると思います。各診療科の枠をこえて先生方との交流も多く、非常に雰囲気の良い病院です。ぜひ一度見学にいらしてください。

この病院での研修で良い点は、研修科を自由に選択できる点です。大学病院などの研修医の多い病院では、人数の制限などで、希望する科を研修できないことがあります。ここではそういうことはありません。柔軟に研修科を選択できます。また、研修医も少ないため、経験できる手技が多い所も良い点です。救急症例も、当直や日中の救急などで研修医は関わることが出来ます。大きい病院ではありませんが、研修するには良い点が多く、指導医や上級医の先生方とマンツーマンで研修ができます。

地域に根ざした医療を行っているため、地域医療に興味がある方にも良い研修ができると思います。ぜひ見学に来て当院の魅力を体験してください。

産婦人科（後期）

私が当院で後期研修を行うことにした理由は、泉州広域母子医療センターとして市立貝塚病院では婦人科、りんくう総合医療センターでは産科の数多くの症例を経験することができると思ったからです。婦人科疾患の症例数は昨年度は良悪性を含め600症例あり、産科においても800件をこえる分娩数があります。また、熱意のある指導医の先生方がたくさんいらっしゃる、学会活動も積極的に行っていることも大きな魅力で、日々刺激を受けながら研修を送っています。興味のある方は是非見学に来て下さい。明るくアットホームな雰囲気が伝わるかと思います。

研修医のためのミニ講義スケジュール（令和7年度予定）

NO.	開催月	場所	講義名	診療科
1	4月	研修室	院内感染対策	感染制御室
2	5月	講義室	心電図の読み方入門	内 科
3	6月	研修室	小児期の喘息	小児科
4	7月	研修室	外科の基本手技（縫合・CVルート作成等）1	外 科
5	8月	研修室	外科の基本手技（縫合・CVルート作成等）2	外 科
6	9月	研修室	糖尿病について	内 科
7	10月	研修室	乳癌の診断と治療	乳腺外科
	（10月）	（サザン ウィズ）	（ICLS（二次救命措置）講習）	（センタープログラム）
8	11月	研修室	小児医療	小児科
9	12月	研修室	急性期対応（血圧編）	内 科
10	1月	研修室	腹部のCT	放射線科
11	1月	研修室	パーキンソン病について	神経内科
12	2月	研修室	整形外科のプライマリケア	整形外科
13	3月	研修室	産婦人科医以外でも知っておきたい産婦人科の話	産婦人科

- ・1年間に約13項目の講義スケジュール。1年間で受講。ただし2年目に受講も可とする。
- ・講義日時は年間予定を事前に作成。午後5時から1時間程度で実施。
- ・年度ごとに年間予定を作成。
- ・講義内容により、2～3回に分けて実施する場合あり。
- ・講義場所は研修室、会議室または診療科など。
- ・2年次研修医や、後期研修医・若手医師・新人看護師等も参加可能。

カンファレンス・勉強会等一覧

	月	火	水	木	金	
～9:00					整形外科 回診	産婦人科 症例検討会 抄読会
午前		外科 カンファレンス		外科 回診		
		外科 SSI回診		外科 SSI回診		
午後		乳腺カンファレンス				
		内科カンファレンス				
	乳腺カンファレンス	抗菌薬カンファレンス			内視鏡 カンファレンス	
	泌尿器科カンファレンス		泌尿器科カンファレンス		小児科 カンファレンス	
		消化器内 科カンファ レンス	整形外科 カンファレ ンス	内科系カンファレンス		
17:15～					院内勉強会(月1回)	

※ 予定は変更になる場合があります。

研修医対象研修会

- ・院内勉強会（月1回）
- ・CPC（研修医年1回以上）
- ・市民公開講座
- ・その他、災害医療訓練、こすもす懇話会などあり。
- ・各ローテーション科カンファレンス（週1～2回）
- ・回診、症例検討会、抄読会
- ・医療安全、感染対策 などの各種研修会

学会参加費等補助あり

研修医フォロープログラム

当院では、研修医個々に合わせた面談スケジュールや、フォロープログラムを設定し、研修状況に加えメンタルフォローを行い、2年後には次のステップへ自信をもって進める医師を育てます。

1年次

- 4月・・・オリエンテーション（院長面談）
- 5月・・・プログラム責任者面談（メンタルフォロー）
- 8月・・・研修医座談会
- 10月・・・指導医（先輩医師）フォロー
- 11月・・・プログラム責任者面談（選択研修）

2年次

- 5月・・・プログラム責任者面談（後期研修フォロー）
- 11月・・・指導医（先輩医師）フォロー
- 2月・・・院長面談

市立貝塚病院へのアクセス



南海本線 貝塚駅
西口（海側）より
徒歩で北進 約10分

大阪市内まで 26分
関西空港まで 17分



〒597-0015
大阪府貝塚市堀3丁目10-20
市立貝塚病院
TEL 072-422-5865(代表)



貝塚市イメージキャラクター「つげさん」